

UVインキ

UV 減感インキ OLP シリーズ

『UV 減感インキ OLP』は、ノーカーボン紙の中用紙(B紙)や下用紙(C紙)の発色層表面に印刷することによって、ノーカーボン紙の発色作用を無効化させ、複写できないようにするために使用される紫外線硬化型特殊インキです。

■ 特 徴

- ▶ 各メーカーのノーカーボン印刷用紙に対応可能。
- ▶ 高い減感効果が得られる。
- ▶ 印刷適性が良く、オフセット印刷にも使用可能。(凸版用は凸版専用)
- ▶ UV硬化性が良く、高速印刷が可能となる。
- ▶ 黄変性が少なく、印刷面が目立ちにくい。

■ 製品紹介

印刷方式、使用原反などに合わせて5種類のタイプを取り揃えております。貴社印刷条件に合わせてお選びください。

製 品 名	TACK値	適合版式		特 徴
		オフセット	凸版	
UV減感インキOLP	5.0	◎	○	ミステング、耐乳化適性に優れたタイプ
UV減感インキOLP改	4.0	◎	○	紙粉、ブラン残りの少ない軟調子タイプ
UV減感インキOLP(凸版用)	2.5	×	◎	着肉転移性に優れた凸版専用タイプ
UV減感インキOLP-MTK	4.0	◎	○	印刷面が目立たないマット調タイプ
UV減感インキOLP-MTW(凸版用)	3.0	×	◎	凸版専用のマット調タイプ

TACK値… インコグラフ (水温: 38°C)、400rpm、1分値

■ 使用上の注意

- ▶ インキ盛り量は 1~2g/m² が適量です。減感効果が得られる範囲で極力、インキ盛り量を少な目に設定してください。
 - ▶ オフセット印刷中の地汚れ確認には、減感インキが目立ちにくいために減感印刷用スプレーチェッカーで確認してください。
 - ▶ スプレーチェッカー確認だけでなく、必ず実際にペン書きして減感効果を確認してください。
 - ▶ UV照射量の目安は、120W/cm メタルハライドランプ、ランプ灯数: 1~2 灯、印刷スピード: 100~200m/min 程度です。ただし、印刷機やUVランプの状態など印刷条件が異なりますので貴社条件
- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

にてUV硬化性をご確認願います。

- ▶ 極端な厚盛り・低速での印刷は、黄変が目立つことがあります。
- ▶ そのままご使用できるように設計してありますが、粘度を下げたい場合には“UV DG レジューサー”を5%の範囲内で添加してください。
- ▶ 洗浄の際はUVインキ用洗浄液をご使用ください。
- ▶ 原則として、文字・罫線等の絵柄を先に印刷して、減感印刷は最後に行ってください。
- ▶ 先刷りインキは減感インキ中の減感成分により顔料耐性が弱い場合、褪色やブリードが発生することがありますので、必ず耐減感性インキをご使用ください。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、硬化不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用下さい。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2022/01/25 No.W-3

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。